

令和7年度第1回 建設事業評価有識者会議
継続中事業の取組状況について

- ・前回の事業再評価(※)時に事業継続となった(休止・中止でない)事業は、次の再評価時または事業完了まで、定期的に状況を確認
・今回、直近年度(令和6年度)の状況を確認し、継続中事業(確認時点で完了等でなく継続中の事業)について、取組状況・自己評価を報告(詳細別紙)
(※事業継続中の再評価対象外事業(翌年度までに完了予定または事業費の執行済比率80%以上の事業)に係る報告を含む)

【総括表】

〈前回各再評価時〉 事業継続となった 事業の件数		〈直近確認時〉 継続中事業の件数 ※詳細別紙		自己評価別内訳 ※()は事業費・期間の変更あり		備考		
						事業費進捗率①②	事業内容(i)(ii)	
3 年 分 合 計	45	▲ 5	令和 6 年度	40	①(i)	10 (1)	①計画どおりに進捗している	(i)計画どおりに進捗している
					①(ii)		①計画どおりに進捗している	(ii)計画どおりに進捗していない
					②(i)	14 (1)	②計画どおりに進捗していない	(i)計画どおりに進捗している
					②(ii)	16 (7)	②計画どおりに進捗していない	(ii)計画どおりに進捗していない
(内訳)								
令和 3 年度	18	▲ 4	令和 6 年度	14	①(i)		<▲4 の内訳> ・前回再評価後に完了となったもの…3件 ・令和7年度に再評価を実施するため令和3年度の件数から除くもの…1件	
		①(ii)						
		②(i)			4 (1)			
		②(ii)			10 (6)			
令和 4 年度	6	▲ 0		6	①(i)	2 (0)	-	
		①(ii)						
		②(i)			3 (0)			
		②(ii)			1 (0)			
令和 5 年度	21	▲ 1		20	①(i)	8 (1)	<▲1 の内訳> ・前回再評価後に完了となったもの…1件 <①(i)の(1)の理由> ・他事業の進捗と合わせ整備予定の箇所があり、事業期間を延長したもの…1件	
		①(ii)						
		②(i)			7 (0)			
		②(ii)			5 (1)			

継続中事業の取組状況－令和3年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉														
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)						6年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由							
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度	7年度									
R3-01	街路事業 [建設局] 河堀口舎利寺線整備事業	事業継続 (A)	令和6年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保し、用地交渉が難航している物件については土地収用法の適用も視野に入れながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。	計画	事業費	全体	55	55	55	55	用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要した。 [事業期間等の変更をした理由] 権利者との用地交渉時間を要したため、令和6年度に事業計画の見直し(事業認可期間延伸、事業費)を行った。						
						累計	47	49	52	55								
						進捗率	86%	90%	94%	100%								
					完了年度			R6	R6	R6			R6					
				実績	事業費	全体	55	55	55	56								
						累計	47	47	47	49								
						進捗率	86%	86%	86%	87%								
					完了年度			R6	R6	R6			R13					
				R3-02	街路事業 [建設局] 鞍作線線整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しいが、今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせて、引き続き予算確保に努め、事業進捗を図る。	計画	事業費	全体			27	27	27	27	用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要した。
										累計			22	23	23	25		
進捗率	83%	84%	86%							91%	100%							
完了年度			R7						R7	R7	R7	R7						
実績	事業費	全体	27					27	27	27								
		累計	22					22	22	22								
		進捗率	83%					83%	83%	83%								
	完了年度							R7	R7	R7	R7							
R3-03	街路事業 [建設局] 尼崎堺線(西成南)整備事業	事業継続 (A)	令和10年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。					計画	事業費	全体	136	136	136	136	用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計・整備を着実に進めており、事業進捗が図れている。		
										累計	73	77	85	90				
				進捗率	54%	56%	63%			66%	72%							
				完了年度			R10		R10	R10	R10	R10						
				実績	事業費	全体	136	136	136	136								
						累計	73	76	76	77								
						進捗率	54%	56%	56%	57%								
					完了年度			R10	R10	R10	R10							
				R3-04	街路事業 [建設局] 十三吹田線整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しいが、今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせて、引き続き予算確保に努め、事業進捗を図る。	計画	事業費	全体	68	68	68	68			用地取得及び用地取得に向けた用地交渉、道路設計等を行うなど、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要した。
										累計	26	28	29	44				
進捗率	39%	41%	42%							65%	78%							
完了年度			R10						R10	R10	R10	R10						
実績	事業費	全体	68					68	68	68								
		累計	27					27	28	28								
		進捗率	40%					40%	40%	41%								
	完了年度							R10	R10	R10	R10							

継続中事業の取組状況－令和3年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)					6年度の取組内容	自己評価結果			
							3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度	7年度	計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由	
R3-05	街路事業 [建設局] 天王寺大和川線整備事業	事業継続 (B)	JR阪和線の高架化工事事業の完了後、既に広大な空間が広がっている状況から本事業への地域の関心は高まっており、依然として事業の必要性も高いことから、令和10年度の事業完了をめざして、引き続き地域等と調整を図りながら、予算の範囲内で着実な事業実施に努める。	計画	事業費	全体	942	942	942	942	942	測量・設計及び道路整備、用地取得及び用地取得に向けた用地交渉等を行うなど、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計・整備を着実に進めており、事業進捗が図れている。
						累計	862	890	906	921	934		
						進捗率	92%	95%	96%	98%	99%		
					完了年度		R10	R10	R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	942	942	942	942			
						累計	862	873	884	903			
						進捗率	92%	93%	94%	96%			
					完了年度		R10	R10	R10	R10			
					事業費	全体	10	10	10	10		道路設計を行い、事業進捗を図った。 ※事業費の変更を行った(9.6億→10.18億)が、左表では整数表記のため「10」のまま。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要した。 [事業期間の変更をした理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要したため、令和6年度に事業計画の見直し(事業認可期間延伸、事業費)を行った。
						累計	6	9	9	10			
						進捗率	63%	92%	97%	100%			
R3-06	街路事業 [建設局] 長柄塚線整備事業	事業継続 (A)	令和6年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得が終われば速やかに工事を実施していく。	計画	事業費	全体	10	10	10	10			
						累計	5	7	8	8			
						進捗率	48%	77%	81%	76%			
					完了年度		R6	R6	R6	R6			
				実績	事業費	全体	121	121	121	121	121	用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要した。
						累計	28	33	39	48	58		
						進捗率	23%	27%	32%	39%	48%		
					完了年度		R10	R10	R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	121	121	121	121			
						累計	31	34	37	39			
						進捗率	25%	28%	31%	33%			
					完了年度		R10	R10	R10	R10			
R3-07	街路事業 [建設局] 木津川平野線整備事業	事業継続 (A)	令和10年度の事業完了をめざして、重点的に予算を確保しながら、用地取得を進め、用地取得ができた区間から工事を実施していく。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	25	令和5年度の2度の実施設計業務委託の入札不調を受け、設計・施工を一括して発注する総合評価落札方式(高度技術提案型)を適用した。 ・令和6年7月：入札公告 ・令和7年2月：契約	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 実施設計業務委託の入札不調により、全体スケジュールに遅延が生じている。 [事業期間等の変更をした理由] 入札方式を設計・施工を一括して発注する総合評価落札方式(高度技術提案型)へ見直す際に、昨今の社会情勢等を踏まえ、事業期間を令和10年度までとした。
						累計	0	0.3	0.3	0.3	0.3		
						進捗率	0%	1%	1%	1%	1%		
					完了年度		R6	R6	R8	R9	R9		
				実績	事業費	全体	25	25	25	32			
						累計	0	0	0	0			
						進捗率	0%	0%	0%	0%			
					完了年度		R6	R8	R9	R10			
R3-08	水道設備整備事業 [水道局] 柴島浄水場下施設 運転用自家発電設備 整備事業	事業継続 (A)	令和3・4年度に実施設計について、業務委託を実施する。その後の工事発注により、令和6年度に施設運転用自家発電施設の完成を目指す。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	25	令和5年度の2度の実施設計業務委託の入札不調を受け、設計・施工を一括して発注する総合評価落札方式(高度技術提案型)を適用した。 ・令和6年7月：入札公告 ・令和7年2月：契約	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 実施設計業務委託の入札不調により、全体スケジュールに遅延が生じている。 [事業期間等の変更をした理由] 入札方式を設計・施工を一括して発注する総合評価落札方式(高度技術提案型)へ見直す際に、昨今の社会情勢等を踏まえ、事業期間を令和10年度までとした。
						累計	0	0.3	0.3	0.3	0.3		
						進捗率	0%	1%	1%	1%	1%		
					完了年度		R6	R6	R8	R9	R9		
				実績	事業費	全体	25	25	25	32			
						累計	0	0	0	0			
						進捗率	0%	0%	0%	0%			
					完了年度		R6	R8	R9	R10			

継続中事業の取組状況－令和3年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)					6年度の取組内容	自己評価結果			
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度			7年度		
R3-09	道路事業 [建設局] 市道西成区第369号 線道路改良事業	事業継続 (B)	本路線は、歩行者等の安全対策ならびに自動車交通の円滑化、さらに防災機能向上のためにも整備が必要な路線として、予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度での完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体	23	23	23	23	23	昨年度の工事施工中に地下水位が想定よりも高いことが判明したため再設計を行い、盛土工法の決定を行い、道路整備に向けた工事の発注を行った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 盛土工法の再検討を行う必要が生じ、その際検討に時間を要した。 [事業期間の変更をした理由] 盛土工法の再検討により、事業工程に遅れが生じたため、完了年度を変更した。 道路整備に向けた工事発注は完了しており、令和8年度の完成に向けた工事進捗管理を努める。
						累計	20	20	21	22	23		
						進捗率	85%	88%	92%	97%	100%		
				実績	事業費	全体	23	23	23	23			
						累計	19	19	19	20			
						進捗率	84%	84%	84%	84%			
					完了年度		R7	R7	R7	R7			
					事業費	全体	23	23	23	23			
						累計	19	19	19	20			
進捗率	84%	84%	84%	84%									
完了年度		R7	R7	R7	R8								
R3-10	うめきた2期区域基盤整備事業 [大阪都市計画局] 大阪駅北大深西地区土地区画整理事業	事業継続 (A)	世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」と、新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点の形成の実現に向け、都市基盤整備（新駅設置事業・地下化事業、区画整理事業）を着実に実施する。	計画	事業費	全体	446	446	455	455	455	道路整備・埋設物移設工事等うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施した。	[自己評価結果] ②(i) [理由] ・国道176号以北の基盤整備工事等に係る管理者協議に時間を要したためR6年度執行額が当初想定より減額となったが、R8年度完成に向け工事を進めている。 [事業費を変更した理由] ・発注方法の見直しや構造の見直し、工法の見直し等で縮減を図っているが、国道176号との接道する橋梁において関係者との近接協議の結果による構造変更や近年の社会情勢による建設価格等の高騰等により、事業費が増加したため。
						累計	178	247	317	382	413		
						進捗率	40%	55%	70%	84%	91%		
				実績	事業費	全体	446	455	455	556			
						累計	159	241	272	362			
						進捗率	36%	53%	60%	65%			
					完了年度		R8	R8	R8	R8			
					事業費	全体	446	455	455	556			
						累計	159	241	272	362			
進捗率	36%	53%	60%	65%									
完了年度		R8	R8	R8	R8								
R3-11	住宅地区改良事業 [都市整備局] 長橋住宅地区改良事業	事業継続 (B)	地権者の理解・協力を得られたことを契機として、なお加速的にこの事業を進めることが求められる。そのため、令和7年度の事業収束をめざして、権利者に対し、引き続き事業の必要性の説明と協力要請を丁寧に行うとともに、国との協議をふまえた区画整理事業の換地手法等の活用など新たな方策の導入も視野に入れながら用地取得を進め、必要な施設整備を行っていく。	計画	事業費	全体	90	90	90	90	90	・現改良住宅建設用地として確保している土地を公営住宅用地に変更するとともに、改良事業地区近隣の未利用地となっている2箇所の公営住宅用地を地区外施行区域としたうえで改良住宅用地に変更する事業計画変更を行った。 ・令和7年度の用地買収に向けて建物調査（3件）を行った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 用地買収等にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要しているため。 [事業期間の変更をした理由] 権利者との用地交渉に時間を要したため、完了年度を変更した。今後の建物除却及び用地取得について、概ね大地主と合意に至っており、変更した事業計画どおりの事業完了に向けて事業を実施する。
						累計	68	71	83	89	90		
						進捗率	76%	79%	92%	99%	100%		
				実績	事業費	全体	90	90	90	90			
						累計	67	69	69	69			
						進捗率	74%	77%	77%	77%			
					完了年度		R7	R7	R7	R12			
					事業費	全体	90	90	90	90			
						累計	67	69	69	69			
進捗率	74%	77%	77%	77%									
完了年度		R7	R7	R7	R12								
R3-12	港湾公害防止対策事業 [大阪港湾局] 大阪港内公害防止対策事業	事業継続 (B)	これまで堤防の耐震対策箇所を優先してきたが、今後は濃度の高い箇所を優先的に除去する等、効果的な対策を実施しながら令和11年度の完了をめざす。また、公害財特法の失効に伴い、財源確保が厳しくなることから、国や他の自治体等とも調整しながら、財源確保にむけた取り組みも進める。	計画	事業費	全体	147	147	147	147	147	高濃度ダイオキシン類の底質除去を実施。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 要求額に対して国の内示額が下回ったため、事業費では計画を下回るが事業は計画通りに進捗している。
						累計	26	33	40	45	50		
						進捗率	18%	22%	27%	31%	34%		
				完了年度		R11	R11	R11	R11	R11			
				実績	事業費	全体	147	147	147	147			
						累計	26	30	36	42			
						進捗率	18%	20%	24%	29%			
					完了年度		R11	R11	R11	R11			
					事業費	全体	147	147	147	147			
累計	26	30	36			42							
進捗率	18%	20%	24%	29%									
完了年度		R11	R11	R11	R11								

継続中事業の取組状況－令和3年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)					6年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
					3年度 (事業再評価時)	4年度	5年度	6年度			7年度		
R3-13	橋梁事業 [建設局] 主要地方道大阪狭山線（下高野橋）橋梁架替事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	29	29	29	29	29	下高野橋の架替に伴う、主要地方道大阪狭山線の線形変更に必要な用地取得にかかる権利者との調整及び交渉を実施した。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要した。
						累計	29	29	29	29	29		
						進捗率	98%	98%	100%	98%	98%		
					完了年度		R5	R5	R5	R8	R8		
				実績	事業費	全体	29	29	29	29			
						累計	29	29	29	29			
						進捗率	98%	98%	98%	98%			
					完了年度		R5	R5	R8	R8			
R3-14	道路事業 [建設局] 主要地方道住吉八尾線道路改良事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	14	14	14	14	14	道路予定地の取得及び道路整備に向け工事発注を実施した。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要した。
						累計	13	13	14	14	14		
						進捗率	95%	96%	97%	97%	100%		
					完了年度		R4	R4	R6	R7	R7		
				実績	事業費	全体	14	14	14	14			
						累計	13	13	13	13			
						進捗率	93%	93%	93%	94%			
					完了年度		R4	R6	R7	R8			

継続中事業の取組状況－令和4年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)						6年度 の取組内容	自己評価結果		
					4年度 (事業再評価時)	5年度	6年度	7年度	8年度				
R4-01	連続立体交差事業 [建設局] 阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業	事業継続 (A)	本事業については、踏切除却により都市交通の円滑化、踏切事故解消、都市防災性の向上が図られることから、事業を継続することとし、引続き事業費確保の取組により令和13年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	2,326	2,326	2,326	2,326	2,326	高架化工事を実施した。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 一部区間で地元調整に時間を要したため工事着手に遅れが生じたが、その他区間では鋭意工事を進めており、事業内容については計画どおり進捗が図れている。
						累計	1,342	1,671	1,781	1,891	1,996		
						進捗率	58%	72%	77%	81%	86%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	2,326	2,326	2,326				
						累計	1,342	1,596	1,706				
						進捗率	58%	69%	73%				
					完了年度		R13	R13	R13				
R4-02	港湾整備事業 [大阪港湾局] 咲洲東土地造成事業	事業継続 (B)	【埠頭用地】 国直轄事業を核とする国際物流ターミナル整備事業の令和13年度の完成にあわせ、着実に実施していく。 【流通施設用地】 背後に一大消費圏を抱える大阪港において、輸送効率化に寄与する大型物流施設の立地需要に対応するとともに、今後不足する恐れのある公共残土の処分場確保の観点から、令和19年度の完成をめざし、着実に実施していく。	計画 【埠頭用地】	事業費	全体	48	48	48	48	48	【埠頭用地】 ・環境影響評価(準備書作成に向けた現地調査) ・基本設計(護岸設計) 【流通施設用地】 ・環境影響評価(準備書作成に向けた現地調査) ・基本設計(護岸設計)	[自己評価結果] ②(i) [理由] 事業の実施に伴って生じる環境への影響について、事業実施前に調査をする必要があり、当該調査の結果に影響があるため事業にかかる工事発注を見送った。このことから、事業費では計画を下回るものの、事業は計画通りに進捗している。
						累計	7	7	9	11	15		
						進捗率	15%	15%	19%	23%	31%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績 【埠頭用地】	事業費	全体	48	48	48				
						累計	7	7	7				
						進捗率	15%	15%	15%				
					完了年度		R13	R13	R13				
計画 【流通施設用地】	事業費	全体	103	103	103	103	103						
		累計	5	6	8	11	18						
		進捗率	5%	6%	8%	11%	17%						
	完了年度		R19	R19	R19	R19	R19						
実績 【流通施設用地】	事業費	全体	103	103	103								
		累計	5	5	6								
		進捗率	5%	5%	6%								
	完了年度		R19	R19	R19								
R4-03	街路事業 [建設局] 豊里矢田線(生野)整備事業	事業継続 (A)	本事業については、本市東部エリアにおける南北方向の道路ネットワークの形成と生野区南部地区における密集市街地の防災骨格を担う重要な路線として、当該区間の整備を進めていく必要性が高いことから、引続き事業費確保に努め、令和9年度までの事業完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	25	用地取得に向けた用地交渉や物件調査を行うなど、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要した。
						累計	2	5	13	22	23		
						進捗率	9%	22%	51%	87%	93%		
					完了年度		R9	R9	R9	R9	R9		
				実績	事業費	全体	25	25	25				
						累計	1	4	5				
						進捗率	5%	17%	21%				
					完了年度		R9	R9	R9				

継続中事業の取組状況－令和4年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	〈前回再評価時〉 （対象外事業は方針作成なし）		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 （事業費単位：億円）					6年度 の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
					4年度 （事業再評価時）	5年度	6年度	7年度			8年度		
R4-04	街路事業 〔建設局〕 福町十三線立体交差事業（阪神なんば線）	事業継続 （A）	本事業については、国の直轄河川事業として実施されている阪神なんば線淀川橋梁改築事業の促進に加え、踏切除却により都市交通の円滑化、踏切事故解消及び駅周辺地域の一体化が図られることから、引続き事業費確保に努め、令和13年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	61	61	61	61	高架化工事を実施した。	〔自己評価結果〕 ①（i） 〔理由〕	
						累計	18	23	28	32			40
						進捗率	29%	37%	45%	53%			65%
					完了年度		R13	R13	R13	R13			R13
				実績	事業費	全体	61	61	61				
						累計	15	22	30				
						進捗率	25%	35%	49%				
					完了年度		R13	R13	R13				
R4-05	街路事業 〔建設局〕 淀川南岸線整備事業	事業継続 （A）	本事業は、東西方向の市内幹線道路ネットワークの形成と歩行者等の安全性の向上や防災性の向上、淀川左岸線へのアクセス向上が図られることから、引続き事業費確保に努め、事業完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	138	138	138	138	淀川左岸線（2期）事業に伴う阪急交差部工事等を実施した。	〔自己評価結果〕 ①（i） 〔理由〕	
						累計	51	67	73	81			83
						進捗率	37%	49%	53%	59%			60%
					完了年度		R13	R13	R13	R13			R13
				実績	事業費	全体	138	138	138				
						累計	48	61	80				
						進捗率	35%	44%	58%				
					完了年度		R13	R13	R13				
R4-06	街路事業 〔建設局〕 淀川左岸線（2期）事業	事業継続 （A）	本事業については、「大阪都市再生環状道路」として整備することで、産業・観光・物流の発展や都心部の渋滞緩和、市街地環境の改善、災害時のリダンダンシーの確保などが図られることから、引続き事業費確保に努め、事業完了に向け重点的に実施する。また、万博開催時においては、シャトルバス等のアクセスルートとして利用することにより、会場へのアクセス時間の短縮や定時性の向上、複数ルートの確保による渋滞緩和などに寄与することから、万博時において暫定的に利用可能となるよう重点的に実施する。	計画	事業費	全体	6,109	6,109	6,109	6,109	トンネル本体工事等を実施した。	〔自己評価結果〕 ②（i） 〔理由〕 事業費進捗率は計画未達となっているが、事業計画上の実施すべき工事等は遅延なく実施できており、事業進捗が図れている。	
						累計	4,084	4,381	4,752	4,864			5,118
						進捗率	67%	72%	78%	80%			84%
					完了年度		R14	R14	R14	R14			R14
				実績	事業費	全体	6,109	6,109	6,109				
						累計	3,971	4,229	4,500				
						進捗率	65%	69%	74%				
					完了年度		R14	R14	R14				

継続中事業の取組状況－令和5年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)					6年度の取組内容	自己評価結果			
							5年度 (事業再評価時)	6年度	7年度	8年度	9年度	計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由	
R5-01	街路事業 [建設局] 東野田河堀口線（大手前）整備事業	事業継続 (A)	本事業については、自動車交通の円滑化や歩行者の安全な歩行空間の確保、さらには都市防災機能の向上を図るため、当該区間の整備を進めて行く必要性が高い。そのため、残る1件の国有地の用地買収を早々にまとめていくとともに、引き続き事業費の確保に努め、令和10年度末までの事業完了に向けて重点的に実施する。	計画	事業費	全体	24	24	24	24	24	電線共同溝設計を行い、事業進捗を図った。 ※事業費の変更を行った（23.7億→24.47億）が、左表では整数表記のため「24」のまま。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要した。 [事業期間の変更をした理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要したため、令和6年度に事業計画の見直し（事業認可期間延伸、事業費）を行った。
						累計	16	16	18	21	24		
						進捗率	69%	67%	75%	86%	100%		
					完了年度		R10	R10	R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	24	24					
						累計	16	17					
						進捗率	69%	68%					
					完了年度		R10	R13					
				計画	事業費	全体	49	49	49	49	49	用地取得や用地取得に向けた用地交渉、物件調査を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計を着実に進めており、事業進捗が図れている。
						累計	26	28	29	33	38		
						進捗率	53%	58%	60%	68%	79%		
					完了年度		R12	R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	49	49					
						累計	26	26					
						進捗率	53%	54%					
					完了年度		R12	R12					
R5-03	街路事業 [建設局] 豊里矢田線（鳴野・蒲生）整備事業	事業継続 (A)	本事業については、本市東部エリアにおける南北方向の道路ネットワークの形成と歩行者等の安全性の向上を図るために、当該区間の整備を進めて行く必要性が高いことから、引き続き未買収地の用地取得に向けた交渉を粘り強く続けていき、令和12年度末までの段階的整備に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	150	150	150	150	150	用地取得に向けた用地交渉や道路設計・整備に向けた検討と関係機関協議を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計を着実に進めており、事業進捗が図れている。
						累計	103	120	129	136	144		
						進捗率	69%	80%	86%	91%	96%		
					完了年度		R12	R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	150	150					
						累計	103	104					
						進捗率	69%	70%					
					完了年度		R12	R12					
				計画	事業費	全体	61	61	61	61	61	用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計を着実に進めており、事業進捗が図れている。
						累計	31	35	40	45	49		
						進捗率	52%	57%	65%	73%	80%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	61	61					
						累計	30	32					
						進捗率	50%	52%					
					完了年度		R13	R13					
R5-04	街路事業 [建設局] 正蓮寺川北岸線（伝法・伝法東）整備事業	事業継続 (A)	本事業については、自動車交通の円滑化と歩行者等の安全な通行空間の確保に加え、防災機能の向上を図るためには重要であり、阪神なんば線との交差部においては淀川橋梁架替事業の進捗にあわせて進めて行く必要があることから、令和13年度末での事業完了に向けて重点的に実施する。	計画	事業費	全体	61	61	61	61	61	用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計を着実に進めており、事業進捗が図れている。
						累計	31	35	40	45	49		
						進捗率	52%	57%	65%	73%	80%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	61	61					
						累計	30	32					
						進捗率	50%	52%					
					完了年度		R13	R13					

継続中事業の取組状況－令和5年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)						6年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由		
					5年度 (事業再評価時)	6年度	7年度	8年度	9年度				
R5-05	街路事業 〔建設局〕 尼崎堺線（住之江） 整備事業	事業継続 （A）	本事業については、北加賀屋交差点の交差点改良は完了しているものの、歩道拡幅による歩行者や自転車等の安全対策の必要性が高いことから、引き続き早々の用地買収に努め、令和7年度末までの事業完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	13	13	13			用地取得に向けた用地交渉を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②（ii） 〔理由〕 権利者との用地交渉に時間を要した。
						累計	11	12	13				
						進捗率	79%	90%	100%				
					完了年度			R7	R7	R7			
				実績	事業費	全体	13	13					
						累計	8	8					
						進捗率	60%	60%					
					完了年度			R7	R7				
R5-06	街路事業 〔建設局〕 正蓮寺川歩行者専用道整備事業	事業継続 （A）	本事業については、正蓮寺川総合整備事業の一環として位置付けられており、市民サービスの提供や防災機能の発揮などの観点から必要性の高い事業であり、関連事業の工事進捗を勘案しながら、令和12年度末までの事業完了に向け、重点的に実施する。	計画	事業費	全体	22	22	22	22	22	歩行者専用道整備に向けた関係機関との協議を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②（i） 〔理由〕 工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、関係機関協議を着実に進めており、事業進捗が図れている。
						累計	16	16	17	18	19		
						進捗率	71%	73%	75%	80%	85%		
					完了年度			R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	22	22					
						累計	16	16					
						進捗率	70%	70%					
					完了年度			R12	R12				
R5-07	公園整備事業 〔建設局〕 正蓮寺川公園整備事業	事業継続 （A）	本事業については、正蓮寺川総合整備事業の一環として位置付けられており、市民サービスの提供や防災機能の発揮などの観点から必要性の高い事業であり、関連事業の工事進捗を勘案しながら、令和12年度末までの事業完了に向け、重点的に実施する。	計画	事業費	全体	71	52	52	52	52	森巣橋～恩貴島橋間の実施設計を行った。	〔自己評価結果〕 ②（ii） 〔理由〕 関係先との協議により公園の基盤整備計画を変更する必要が生じたことから、予定していた工事を先送りせざるを得なかったが、一部区間の実施設計を行っており、引き続き令和12年の事業完了に向けて関連事業との連携を図りながら整備を進める。 〔事業費の変更をした理由〕 既開設区域の実績に基づいて精査したところ、当初計画より減少する見込みとなったため、令和5年度に事業費の計画変更を行った。
						累計	28	29	32	36	40		
						進捗率	39%	55%	62%	69%	78%		
					完了年度			R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	52	52					
						累計	28	28					
						進捗率	53%	54%					
					完了年度			R12	R12				
R5-08	下水道事業 〔建設局〕 大阪市公共下水道事業 （抜本的浸水対策事業）	事業継続 （B）	浸水対策事業については、市民の安心安全の確保の観点から必要性の高い事業であり、本市下水道事業経営戦略に基づき、予算の範囲内で引き続き下水道幹線やポンプ場を整備することにより、現在実施している工事は着実に進め、令和8年度での雨水対策整備率81.6%に向けて事業を実施する。	計画	事業費	全体	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	淀の大放水路（大隅～十八条幹線）等の整備工事を進めた。 また、此花下水処理場雨水ポンプ場の整備工事を進め、令和6年度に通水した。	〔自己評価結果〕 ①（i） 〔理由〕 これまでの再評価は、個別路線単位での評価が技術的に難しく、市内一円の全体計画に対して実施してきたが、次回再評価からは個別路線単位で実施予定。 個別路線単位とした場合に、再評価対象となる事業費10億円以上等の事業の進捗は次のとおり。 ①淀の大放水路（大隅～十八条幹線）・・・ 95％ ②島屋北幹線・・・ 96％ ③桜島～西島幹線・・・ 55％ ④豊崎～茶屋町幹線・・・ 26％
						累計	7,062	7,174	7,228	7,251	7,251		
						進捗率	74%	75%	75%	76%	76%		
					完了年度			R20	R20	R20	R20		
				実績	事業費	全体	9,600	9,600					
						累計	7,062	7,174					
						進捗率	74%	75%					
					完了年度			R20	R20				

継続中事業の取組状況－令和5年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉										
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)						6年度の取組内容	自己評価結果			
					5年度 (事業再評価時)	6年度	7年度	8年度	9年度					
R5-09	住宅事業 〔都市整備局〕 市営住宅建替事業 (大阪市地区地域居住機能再生推進事業)	事業継続 (A)	「大阪市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、耐震性の確保や居住水準の向上を図るため、労務単価や主要資材単価の高騰等の影響による事業費の増嵩等のリスクに対して適切に対応するとともに、「地域居住機能再生推進事業」等の国費を確保しながら、計画的に建替事業等を推進する。	計画	事業費	全体	2,824	2,824	2,824	2,824	2,824	市営住宅ストック総合活用計画に基づき、市営住宅建替を計画的に実施した。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 計画内の一部の住宅については、住民が住みながら工事を実施するため、騒音や振動が発生することについて住民と工事時間帯をめぐって調整が難航するなどし、執行計画を変更した。そのため、事業費進捗率は計画未達となったが、この変更により今後予定している事業スケジュールには影響しないものである。	
						累計	710	1,029	1,355	1,651	1,947			
						進捗率	25%	36%	48%	59%	69%			
				実績	事業費	完了年度	R12	R12	R12	R12	R12			
						全体	2,824	2,824						
						累計	645	901						
						進捗率	23%	32%						
				完了年度	R12	R12								
				R5-10	新大学キャンパス整備事業 〔副首都推進局〕 新大学キャンパス整備事業	事業継続 (A)	【森之宮1期・杉本町・中百舌鳥・阿倍野キャンパス整備事業】 森之宮1.5期キャンパス整備以外の事業については、基幹教育や同一学部で複数のキャンパスに分かれる状態の解消に向け、着実な事業進捗に努めていく。 【森之宮1.5期キャンパス整備事業】 森之宮1.5期キャンパス整備事業も含め、大阪城東部地区1.5期開発全体として、今般実施したマーケットサウンディングの内容を踏まえつつ、大阪府、公立大学法人大阪及び大阪市高速電気軌道株式会社（大阪メトロ）とともに検討を進め、2028年のまちびらきに向けて、全体計画、開発スケジュール等を定めていくこととしており、着実な事業進捗に努めていく。	計画	事業費	全体	918			918
累計	382	777	844							867	906			
進捗率	42%	85%	92%							94%	99%			
実績	事業費	完了年度	R10					R10	R10	R10	R10			
		全体	918					918						
		累計	382					777						
		進捗率	42%					85%						
完了年度	R10	R10												
R5-11	街路事業 〔建設局〕 歌島豊里線整備事業	(対象外)	(対象外)					計画	事業費	全体	219	219	219	219
				累計	215	215	215			215	215			
				進捗率	98%	98%	98%			98%	98%			
				完了年度	R13	R13	R13			R13	R13			
				実績	事業費	全体	219	219						
						累計	215	215						
						進捗率	98%	98%						
						完了年度	R13	R13						
				R5-12	街路事業 〔建設局〕 本庄西天満線（神山）整備事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	191	191	191	191
累計	177	182	187							190	191			
進捗率	93%	95%	98%							99%	99%			
完了年度	R10	R10	R10							R10	R10			
実績	事業費	全体	191					191						
		累計	166					166						
		進捗率	87%					87%						
		完了年度	R10					R10						

継続中事業の取組状況－令和5年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)						6年度 の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変 更をした場合の理由		
					5年度 (事業再評価時)	6年度	7年度	8年度	9年度				
R5-13	住区基幹公園整備事業 [建設局] 巽公園整備事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	162	200	200	200	用地取得に向け交渉を行 った。	[自己評価結果] ①(i) [理由] [事業費・事業期間の変更をした理由] 事業費について、物件移転補償費の影響等により、当初計画 を超える見込みとなった。また、用地取得が難航していること から事業進捗について当初予定より遅れが生じたため、令和5 年度に事業費・事業期間の計画変更を行った。	
						累計	162	197	197	199			
						進捗率	100%	98%	98%	99%			99%
					完了年度		R5	R10	R10	R10			R10
				実績	事業費	全体	200	200					
						累計	159	197					
						進捗率	80%	98%					
					完了年度		R10	R10					
R5-14	下水道事業 [建設局] 大阪市公共下水道事業（合流式下水道改 善事業）	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	1,500	1,546	1,546	1,546	住江下水処理場雨水滯水 池の整備工事を進めた。	[自己評価結果] ①(i) [理由]	
						累計	1,232	1,282	1,377	1,397			1,440
						進捗率	84%	85%	89%	90%			93%
					完了年度		R7	R10	R10	R10			R10
				実績	事業費	全体	1,500	1,500					
						累計	1,232	1,282					
						進捗率	84%	85%					
					完了年度		R7	R10					
R5-15	下水道事業 [建設局] 大阪市公共下水道事業（高度処理事業）	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	300	300	300	-	海老江下水処理場の水処 理施設の工事を進め、令和 5年度に通水し、令和6年 度～令和7年度で、性能評 価の検証[※]を進める。 ※本市が求める性能（水質 基準の遵守）評価に加え て、運転管理・保守点検の 実施及びこれらの業務引継 ぎを踏まえたマニュアル策 定等を行っている。	[自己評価結果] ①(i) [理由]	
						累計	268	298	300	-			-
						進捗率	89%	99%	100%	-			-
					完了年度		R7	R7	R7	-			-
				実績	事業費	全体	300	300					
						累計	248	298					
						進捗率	83%	99%					
					完了年度		R7	R7					
R5-16	土地区画整理事業 [都市整備局] 大阪都市計画事業三国東地区土地区画整 理事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	474	474	474	474	建物移転及び埋設管等移 設工事を実施し、事業を推 進した。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者都合などによる移転計画の見直しを行い、執行計画を 変更したため、事業費進捗率は計画未達となったが、この変更 により今後予定している事業スケジュールには影響しないもの である。	
						累計	389	420	442	459			469
						進捗率	82%	89%	93%	97%			99%
					完了年度		R10	R10	R10	R10			R10
				実績	事業費	全体	474	474					
						累計	390	414					
						進捗率	82%	87%					
					完了年度		R10	R10					

継続中事業の取組状況－令和5年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	〈前回再評価時〉 (対象外事業は方針作成なし)		〈直近確認時〉									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況 (事業費単位:億円)					6年度の取組内容	自己評価結果			
					5年度 (事業再評価時)	6年度	7年度	8年度			9年度		
R5-17	土地造成事業 [大阪港湾局] 第6貯木場土地造成事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	60	60	60	60		[自己評価結果] ①(i) [理由] 咲洲東土地造成事業に合わせて整備予定の道路以外は、令和3年度に工事を完了している。 なお、咲洲東土地造成事業に合わせ、完了年度を令和8年度から令和19年度に変更する。	
						累計	59	59	59	59			
						進捗率	98%	98%	98%	98%			98%
					完了年度		R8	R8	R19	R19			R19
				実績	事業費	全体	60	60					
						累計	59	59					
						進捗率	98%	98%					
					完了年度		R8	R19					
R5-18	街路事業 [建設局] 北野今市線整備事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	329	329	329			道路設計を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要した。
						累計	320	323	329				
						進捗率	97%	98%	100%				
					完了年度		R7	R7	R7				
				実績	事業費	全体	329	329					
						累計	320	320					
						進捗率	97%	97%					
					完了年度		R7	R7					
R5-19	街路事業 [建設局] 生野線整備事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	41	41	41			用地取得に向けた用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要した。
						累計	37	39	41				
						進捗率	92%	96%	100%				
					完了年度		R7	R7	R7				
				実績	事業費	全体	41	41					
						累計	37	37					
						進捗率	91%	91%					
					完了年度		R7	R7					
R5-20	住区基幹公園整備事業 [建設局] 中之島西公園整備事業	(対象外)	(対象外)	計画	事業費	全体	55	55	55	55	公園整備に必要な用地取得が完了し、現在は用地取得に伴う事務手続きを進めている。	[自己評価結果] ①(i) [理由] [事業期間の変更をした理由] 当該公園整備に必要な用地取得について交渉が難航していたため令和5年度に事業期間の計画変更を行った。 令和6年度には不動産運用基金を用いた用地取得を実施しており、令和8年度に基金繰戻が完了する予定である。 それに合わせて令和9年に実施設計、令和10年に工事を進め事業完了を目指す。	
						累計	53	53	54	55			55
						進捗率	96%	96%	98%	99%			99%
					完了年度		R9	R10	R10	R10			R10
				実績	事業費	全体	55	55					
						累計	53	53					
						進捗率	96%	96%					
					完了年度		R10	R10					